

小川北義務教育学校

【第15号】

開校準備委員会だより



このたよりは、小川北義務教育学校開校に向けた準備の情報をお届けするものです。
今号では、第16回開校準備委員会の様子をお知らせします。

第16回開校準備委員会を開催

3月19日(金)に、第16回開校準備委員会を開催しました。
専門部会からの報告を基に、協議を行いました。



専門部会からの報告

<PTA部会>

○開校初年度の役員の決め方（役員は学年で決める）

会長（8学年）と監事（9学年）は中学校において決定することとし、それ以外の役員については、各校へ割り振り、女ネット2名（2・3学年）を野田小、会計（4学年）と副会長（7学年）を上吉影小、書記（5学年）と副会長（6学年）を下吉影小から選ぶこととした。

○地区委員会

地区数は、23とする。（現在の小川北中PTAのとおり）

委員長は、野田・上吉影・下吉影の輪番とする。（現在の小川北中PTAのとおり）

○学年委員会

学年委員会の委員長は、7学年の学年委員長とする。

開校初年度の委員の決め方について、各学年の委員長は、9学年から降順に野田・上吉影・下吉影を割り当てし、各校において選出することとする。

<学校運営部会>

○日課表が決定

授業時間が小学生と中学生で異なるため、基本的にはノーチャイムとなり、チャイムは昼休みの終わり等1日3回のみとなる。

○上履きについて

1～6年生の上履きについては、野田小・上吉影小で使用している白いバレースューズとする。現在下吉影小に通っている児童は、サイズが合わなくなって買い替える際に、白いバレースューズを購入する（開校時に統一すると保護者の負担となってしまったため）。現行通り、7～9年生は体育の際に体育館シューズを使用し、1～6年生は使用せずバレースューズで体育を行う。

<総務・通学部会>

○校歌

校歌の作詞は、部会員の推薦により、野田小学区出身の作曲家である「クロダセイイチ」氏に依頼する。歌詞の構成（2番構成か、3番構成か）は、作詞者に一任とする。歌詞には地域に関する言葉を積極的に入れるよう、作詞者に伝えることとする。ただし、「小川北」という言葉は、必ず入れる。

○通学体制

スクールバスの運行経路・乗降所については、下表及び次ページの図のとおりとした。スクールバス利用に関する調査を行い、調査結果から得られた令和4年度～令和8年度までの利用想定に基づき、バスの台数・大きさを決定した。

	スクールバス運行経路(計5ルート)	※カッコ内は、乗降所利用者数	距離	時間	人数(調査回答)	バスの大きさ
A	世楽コミュニティセンター(16) → 佐才コミュニティセンター(24)	→ 学校	6.2km	15分	40人	大型
B	前原公民館(9) → 上吉影小学校(23)	→ 学校	4.6km	12分	32人	中型
C	飯前私有地(22)	→ 学校	2.9km	6分	22人	中型
D	荒地公民館(15) → 前野公民館(14)	→ 学校	8.4km	20分	29人	中型
E	貝谷公民館(2) → 南原公民館(4) → 古新田公民館(7)	→ 学校	10.4km	27分	13人	小型

【主な意見】

- ・前野公民館を利用する場合に、宿地区にある下吉影官舎近くの交差点を通ることになるが、児童が横断しているのが車から見えづらく、危険である。官舎に乗降所を設置できないか。
 - ・乗降所決定後、児童分布によって、見直しを行ってほしい。
- 乗降所については、今後、児童分布が変われば、見直しを図る。

◎スクールバス利用調査結果

○調査対象：小川北義務教育学校に通学予定の児童（現在小学4年生以下の児童）がいる家庭 ※1世帯につき1回答

○回答数：271

○回答率：78.8%

○調査における主な意見

- ・児童が少ない下吉影地区がバス2台なのはどうしてか。

下吉影小学区については、新しい学校までの距離が最も遠く、1つの経路で全ての乗降所を回ると通学に要する時間（乗車時間）が長くなってしまふことから、経路を2つとしております。

- ・通学路の整備がされておらず、危険である。

通学路の整備については、来年度、開校準備委員会にて検討予定です。検討にあたっては、通学路の危険箇所の確認のため、保護者の方に改めて調査を実施させていただく予定です。

- ・バスの運行本数はどのようになるのか。

学年によって下校時刻が異なるため、登校時は1回・下校時は2回運行となります。

- ・行き帰りのどちらかだけバスを利用することは可能か。

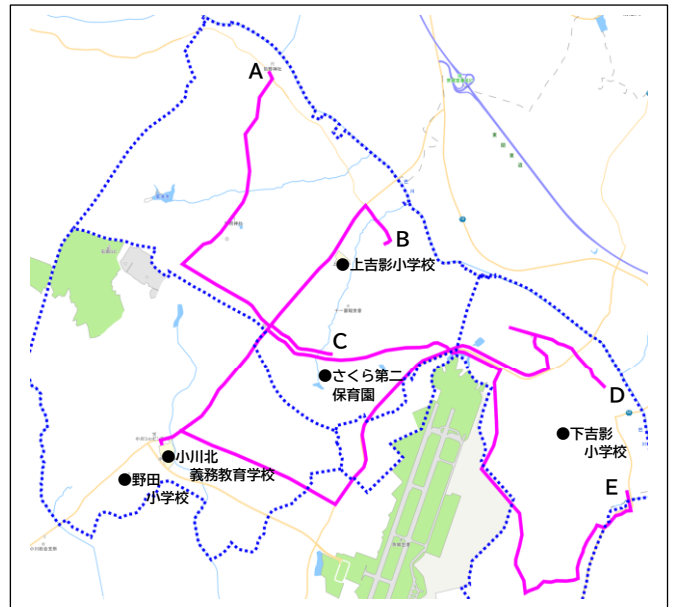
帰りに学童を利用する場合など、行き・帰りのどちらかだけバスを利用することは可能です。バスの利用にあたっては事前に申請書を提出していただきますが、併せて、往復利用か片道利用の確認をさせていただきます。また、年度を通して申請していただきますが、利用したい日に利用することは可能です。

- ・欠席・遅刻の連絡はどのようにすればよいか。

バスを利用する場合であっても通学班体制での登校となりますので、欠席・遅刻については通学班内で連絡を取り合ってください。

- ・乗降所には大人の付き添いが欲しい。

立哨活動の実施については、利用者間等での話し合いによります。



校章の募集について

- 3ページ目のとおり、新しい学校の校章デザイン案を募集します。
- 4ページ目が、応募用紙になります。ご応募お待ちしております。

開校準備委員会の日程は、市のホームページでお知らせしています。委員会は、自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問い合わせください。

発行：小川北義務教育学校開校準備委員会

(事務局) 小美玉市教育委員会 教育企画課 企画係
〒311-3492 小美玉市小川4-11
電話 0299-48-1111 (内線2211・2213)
Eメール kyoiku@city.omitama.lg.jp

小川北義務教育学校の校章デザイン案を募集します！

野田小学校・上吉影小学校・下吉影小学校・小川北中学校は、統合し、令和4年4月に小川北義務教育学校として開校します。新しい学校にふさわしい校章を制定するため、校章デザイン案を募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

募集内容	小美玉市立小川北義務教育学校の校章デザイン案
募集期間	令和3年4月8日（木）～ 令和3年6月10日（木）必着
応募資格	(1) 小川北学区出身の方 (2) 小川北学区に在住の方 (3) 小川北学区に在勤の方 (4) 小川北学区の小中学校の児童生徒、保護者、卒業生
応募条件	(1) 1人につき1点の応募とします。 (2) 応募作品は、応募者が創作した、未発表でオリジナルのものとしてします。 (3) デザインに使用する色は、単色としてください。 (4) デザインを拡大・縮小して使用できるよう配慮し、グラデーション(ぼかし)は使用しないでください。※最小で1cm四方サイズでの使用を予定しています。 (5) デザインの説明(意味やモチーフ等)を必ず記入してください。
応募方法	応募用紙(任意の用紙可)に、必要事項(①校章デザイン案、②デザインの説明、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥応募資格)を記入の上、下記いずれかの方法により応募してください。(応募用紙は、市ホームページにも掲載しています) (1) 応募箱に投函(応募箱は、市役所小川総合支所1階に設置しています) (2) 郵送 宛先: 〒311-3492 小美玉市小川4番地11 小美玉市教育委員会 教育企画課 企画係 (3) 電子申請・届出サービス 申し込み先 URL https://s-kantan.jp/city-omitama-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=19217
選定方法及び選定基準	応募作品の中から、小川北義務教育学校開校準備委員会で選定の上、採用作品1点を決定します。選定では、校章としてのふさわしさ、活用のしやすさ、わかりやすさ、独創性を総合的に判断します。
採用作品の発表	採用作品の応募者には、9月頃に直接ご連絡します。 採用作品は、市ホームページ等で発表します。
表彰等	採用作品の応募者には、賞状及び副賞(図書カード5千円分)を贈呈します。
応募に際しての留意事項	(1) 応募作品は返却しません。 (2) 応募にあたって要する経費は、応募者の負担とします。 (3) 応募用紙は、折り曲げないでください。 (4) 採用作品は、必要に応じて修正・補正を行う場合があります。 (5) 個人情報(氏名等)は、目的以外で使用することはありませんが、採用作品の応募者については、市ホームページ等で氏名等を公表させていただきます。 (6) 採用作品に関する一切の権利は、小美玉市教育委員会に帰属します。

参考：小川北学区 小中学校の校章

野田小学校	上吉影小学校	下吉影小学校	小川北中学校
			

小川北義務教育学校 校章デザイン案応募用紙**デザイン**

上

下

デザインの説明 (デザインの意味, 込めた想い, モチーフにしたもの など)

住所	〒
氏名	(ふりがな)
電話番号	(自宅・携帯・勤務先)
応募資格 (当てはまるものに✓)	<input type="checkbox"/> 小川北学区出身 <input type="checkbox"/> 小川北学区に在住 <input type="checkbox"/> 小川北学区に在勤(勤務先:) <input type="checkbox"/> 小川北学区の小中学校の児童生徒, 保護者, 卒業生